

市民教養講座「エコライフ講座」

趣 旨	近年深刻な問題となっている地球温暖化を身近な問題と捉え、できることから環境を考える機会とする。			
実施主体	新発田市中央公民館			
参加対象	新発田市民			
参加者数	受講者数 17名	延べ受講者数 41名		
回数	3回	日数	3日	
場所	新発田市生涯学習センター他		時間	6時間
内容				

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月4日（土） 13:30～15:30	ドイツに学ぶエコ生活	環境省環境カウンセラー 4万人のゴミゼロプロジェクト会員 橋 由紀夫さん
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 講師が視察で訪れたドイツでの環境保護の取り組み事例を映像で紹介。 3Rの事例として、当市で毎年行われている「全国雑煮合戦」においてリユース食器が使用されている事例も紹介。 	
2	11月18日（土） 13:00～15:30	新潟市資源再生センターエコパーク見学	施設職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市資源再生センターで収集されたビン・缶の選別の様子を見学。 資源として再生・再利用される行程も学習した。 	
3	12月2日（土） 13:30～15:00	チームエコの活動	UX新潟テレビ21 チームエコ事務局 田中 健さん
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 企業としての取り組み事例。 グローバルな視点から、環境問題の危機的事例を取り上げ、そこから「Team ECO」プロジェクトの発足、活動につながっていく課程や現在の活動状況を紹介。 	

成 果

- 環境問題について感心を高める第一歩として開催したが、講座では質疑が活発になされるなど受講者の熱心な姿勢がうかがえた。
- アンケートで第2回目の施設見学がよかったとの意見が多かったことから、リサイクルの現場を実際に目にする事で聴講した内容を検証するよい機会となったと考える。

課 題

- 市長部局環境問題担当課とタイアップすることで、市としての課題を明確化することができ、より充実した内容構成ができると考えられる。
- プログラムに演習を取り入れ、より理解を深める。
- 広報活動（効果的なチラシづくりや配布の工夫等）をより積極的に行い、参加者増を図る。

問合せ先 新発田市中央公民館（担当 齋藤） 電話：0254-22-8516